

備えあれば憂いなし

答 早期の注意喚起



松下 弘毅 議員

問 平成28年1月、大寒波に宇美町も約500世帯に被害を受けた。

宇美町の被害状況は他市町と比べ軽いように思えるが、事前寒波対策はどうしたか。

上下水道課長

事前対応として、防災行政無線で2日間、午前9時・午後6時に蛇口は閉めずに、糸状に水道水を出してくださいとの内容で注意喚起を行った。

被害状況は「水道水は出るがお湯が出ない」との内容から給湯設備等の対応が不足していた。

今後は、早い時期から広報やホームページに掲載、新聞やメディアによる注意喚起を福岡県水道協会等へ要望したい。

問 災害対策本部の設置はどうか。

課長 政策調整会議を

開き、各課連携し応援態勢等で、断水を回避できたため、災害対策本部設置に至らなかった。

問 町有施設の事前対応と被害状況は。

課長 保育施設では、

屋外配管はタオル等を巻き対応したが、蛇口パッキン等破裂、給湯設備の屋上配管の一部破裂、給湯器本体から漏水。

学校施設では、日頃から施設維持管理等は周知徹底しているが、人の目で見えない箇所、高所・水道管の老朽化した箇所等で漏水。

東中学校では、受水槽周りの配管破裂、上水注入ポンプ及び配管破裂で、全館で水が出なくなり、1月26日は午後の授業を短縮する事態となった。

現在は、仮配管で対応、広範囲のため、完

全復旧までには日数を要する。

問 空家に対しての対応は。

課長 メーターを取り外し、止水栓を止めている状態で今回の漏水は少ないと考える。

長期入院等の空家で漏水発生、近所の方による対応、役場への連絡が多数であった。

配水池の配水量が多くなった地域を絞り、漏水調査及び止水栓止めを行った。

2日間で、検針員による全域にわたる漏水調査及び止水栓止めを実施。

2月検針時に、前月と比較して、使用水量の多い家庭には、声かけや文書を投函し知らせている。



▲1月24日漏水現場にて対応



飛賀 貴夫 議員

当町の行財政運営は

答 積極的に行財政改革を

問 平成25年度末に約21億円あった基金が、27年度には14億円になる見込み。

この2年間で7億円も取崩した要因は。

政策経営課長 平成26年度は下水道の繰出金、消費税増税などの増、歳入では臨時財政対策債の減。

27年度は、学校施設の整備費、宇美小学校学童保育所の新築、防災対策費などの増、歳入では普通地方交付税の減などが要因である。

問 基金残は、他市町村と比較してどうか。

課長 平成26年度末では約17億円、県下では下から2番目で、非常に少ない状況である。

問 行財政改革を行う予定は。

課長 行財政改革に先立ち、経費の削減案を収集、精査し、4月以降積極的に取り組んでいく。

いく。

問 この財政危機に、昭和町町営住宅の建替えを推進すべきか。

財産活用課長 老朽化が深刻で見逃すことはできない。

建築費が高騰すれば家賃に跳ね返り入居者の負担を強いる。

基本計画の見直しを予定しており、スケジュールが当初より延びる。

問 この事業を未来永劫継続するのか。

課長 国の指針で、当初からの入居者が全体の5割以下になった場合、一般の公営住宅にすることができると。今後は、これを目指す。

今後は、これを目指す。

問 RC4階建てではなく、木造や軽量鉄骨の2階建てだと建築費が安価で耐用年数も10年、20年は十分持てる

と思うが。

課長 改めて県に相談し、方針を定めていきたい。

問 貴船保育園の裏に小山があるが、登り易く整備を行い、頂上の

平らな所を整備し、公園として町民の憩いの場を作ってはどうか。

課長 間伐等を行い散策ができる歩道などを検討し、現状改善を図りたい。



▲貴船保育園裏山の公園